

冬の安全対策

本格的な降雪シーズンを迎えるにあたり、冬期における雪の被害を防止するための対策をご紹介します。

●家の中で安全に過ごすために

- ・気象情報に注意して、暴雨風雪が予想される時は、外出を避けましょう。
- ・日頃から停電に備え、懐中電灯・携帯ラジオ・防寒具・ポータブルストーブ・灯油・非常食・飲料水などを準備しておきましょう。
- ・FF式暖房機などを使用している場合は、一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、吸排気口付近が雪でふさがれないように注意しましょう。

●車で外出するときに気を付けること

- ・万一来て、携帯電話を忘れずに所持しましょう。
- ・車が立ち往生する可能性があるため、防寒着・長靴・手袋・スコップ・けん引ロープなどを用意するとともに、十分に燃料があることを確認して出かけましょう。また、飲料水や非常食も用意しておくとう安心です。
- ・運転していて、地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待ちましょう。
- ・大吹雪や吹きだまりなどで車が立ち往生したときは、JAFなどのロードサービスや近くの人家などに必ず救助を依頼してください。また、ハザードランプの点灯や停止表示板を置くなど、車が目立つようにしてください。
- ・避難できる場所や近くに人家がない場合は、消防(119番)や警察(110番)に連絡して、車の中で救助に供えてください。
- ・車が雪に埋まったときは、エンジンを切りましょう。マフラーが雪に埋まると排気ガスが車内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは窓を開けて換気し、こまめにマフラーまわりを除雪してください。

●除雪を行うときに気をつけること

- ・屋根の雪下ろしをするときは…

複数で行う →はしごを支えて、安全を確認しましょう。やむを得ず一人で行う場合は、家族や近所の人に声をかけましょう。

滑り止め →靴やはしごに滑り止めをつけるなどの工夫をしましょう。

命綱を着けて →腰に命綱をつけて滑った場合や雪の急落に備えてください。

周囲を確認 →屋根の下を通行する人や子どもなどに注意をしましょう。

- ・除雪機を使用するときは…

服装に注意 →機械に巻き込まれないような服装をしましょう。

雪が詰まった時 →機械トラブルが発生したときは、必ずエンジンを停止してください。

周囲を確認 →通行人や子どもなどに注意をしましょう。

- ・その他の注意事項…

屋根の雪に注意 →屋根の下を通るときは、「雪」や「つらら」に注意してください。

除雪時の健康に注意 →無理に除雪作業は行わない。除雪作業で汗をかいたら着替えをしましょう。

気象情報に注意 →暴風雪警報や大雪警報が発表されたら、外出は控えましょう。

